

科目名	社会的養護 I				担当	川島 良雄		
形態	講義	単位数	2	開講時期	1年後期	実務経験	児童指導員、児童福祉司の勤務経験あり	
必修	保育士：必修				ナンバリング	Y1106	DPとの関連	2
授業概要	<p>社会的養護とは、保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うことである。社会的養護は、「子どもの最善の利益のために」と「社会全体で子どもを育む」を理念として行われている。地域及び家庭の養育機能の脆弱化が進む中で、社会的養護の機能や対象は拡大してきており、より専門的な支援が必要な状況となってきた。こうした状況について学習する。</p>							
到達目標 学習成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会的養護の意義と役割について、理解を深める</li> <li>2. 社会的養護の制度と実施体制について学ぶ</li> <li>3. 現代における養護問題の特徴と今後の課題についての理解を深める</li> </ol>							
授業計画	回	内容						
	1	～オリエンテーション～ 児童養護と保育士						
	2	社会的養護の成り立ちと最近の動向						
	3	社会的養護の基本的な考え方 ①子どもの権利・社会的養護の基本的な考え方						
	4	社会的養護の基本的な考え方 ②自立支援・アフターケア						
	5	社会的養護の法体系と制度 ①社会的養護にかかわる法律						
	6	社会的養護の法体系と制度 ②社会的養護の制度						
	7	施設養護の種類と専門職 ①社会的養護関係施設						
	8	施設養護の種類と専門職 ②自立援助ホーム						
	9	施設養護の種類と専門職 ③障害児を対象とした施設						
	10	施設養護における保育士の支援						
	11	家庭養護の種類と特徴						
	12	施設の運営						
	13	施設養護における被虐待児の支援						
	14	愛着の形成と愛着障害						
15	児童福祉施設の支援者としての保育士							
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会的養護の意義と役割について、説明できる</li> <li>2. 社会的養護の制度と実施体制について理解することができた</li> <li>3. 現代における養護問題の特徴と今後の課題について学ぶことができた</li> </ol>							
評価方法	授業態度（積極的参加） 20%、 提出物 20%、 期末試験 60% （総合評価）							
フィードバック 方法	課題や試験については、授業中に説明及び講評を行う							
アクティブ ラーニング	ディスカッション、調べ学習							
教科書	『新版 保育士を目指す人の社会的養護 I』							
参考書	授業時に、適宜紹介する							
履修条件	子どもや家庭を取り巻く生活環境・社会環境に興味を持ち、テレビ、新聞、書籍等から積極的に情報を取得し、授業に積極的に参加することを期待する							
授業外学習	授業計画に示された内容について、①教科書しっかり読んでおく ②関連する内容について、テレビ、新聞、書籍等に目を通しておく （各回 1 時間程度）							
オフィスアワー	初回授業で説明する							